

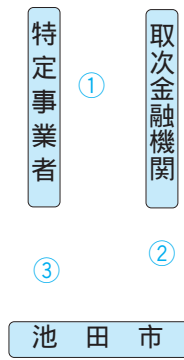
特定事業者の責務

- ① 特定事業者であることが明らかに
なるように、市が配布するポスター
を店頭に掲示すること
 - ② 偽造されたと分かる券、あるいは
大量に持ち込まれるなど、不正に使
用していることが明らかでない地域振興
券については受け取りを拒否するこ
と。なお、その際、その事実を市に
通報すること
 - ③ 地域振興券の再流通を防止するた
め、地域振興券を受け取った場合は、
券裏面の左上隅を破線に沿って切り
取るとともに、「特定事業者印」欄
に押印すること
 - ④ 地域振興券の交換、譲渡および売
買を行わないこと
- 登録の取り消し
特定事業者が右の責務に違反した
ときは、登録を取り消すことがあります
ます



換金方法

- 換金の取り次ぎを行う金融機関は、
市内の次の3銀行の本店、支店、出
張所です。
三和銀行、池田銀行、住友銀行
- 現金支払いは一切行いません
- 換金の申出期間は地域振興券の交
付開始の日から9カ月以内（11年11
月30日まで）です
- 換金手順は次の通りです



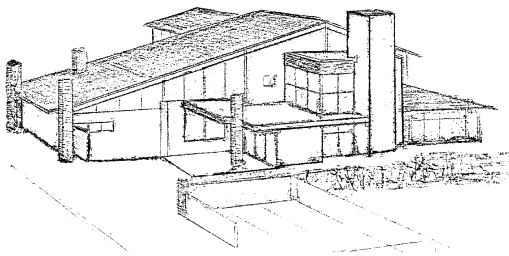
- ① 地域振興券、換金申請書、登録
証明書を提示して換金を申出
 - ② 地域振興券、換金申請書を池田
市に取り次ぎ
 - ③ 口座振替により換金
- 口座振替は、毎月5日と20日の2
回です
 - 5日 前月6日～20日までの申請分
 - 20日 前月21日～当月5日までの申
請分。ただし、3月は23日（20日分）
のみ。

問い合わせは池田市地域振興券推
進本部（☎51・5101）
特定事業者の受付期間中（2月1
日～19日）は、商工会議所に臨時電
話（☎51・5090）を設置します。

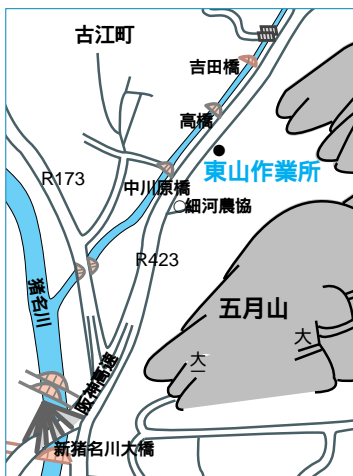
◆自立と社会参加をめざして◆
知的障害者通所授産施設
（仮称）東山作業所7月開設へ

昭和56年の国際障害者年を契機に
確立されたまちづくりの理念、「共
に生きる社会」をめざして、障害者
の自立と社会参加の促進を目的とし
た施策が推進される中、市は、平成
8年12月に「池田市障害者計画」を
公表しました。

この計画に沿って、障害者が身近
に利用できる施設の整備を進めるた
め、9年4月に市内の主な障害者団
体である身体障害者福祉会、手をつ
なく親の会、身体不自由児（者）父
母の会が手をつなぎ、池田市障害者団
体連合会を発足。
さらに、地元自治会の「理解と」



東山作業所完成予想図



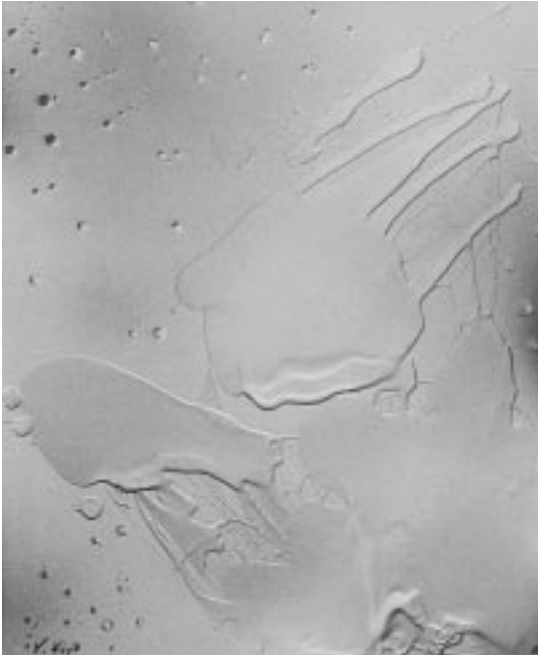
協力、市からの施設用地の提供、周
辺の環境整備、技術指導など全面的
な支援のもと、昨年10月末に「社会
福祉法人池田芽ばえ福祉会」を設立
しました。

同福祉会では、現在、東山町58
9番地に知的障害者通所授産施設
（仮称）東山作業所を7月（予定）に
開設しようとして、準備を進めています。

この作業所は定員50人。就職が困
難な障害者に働く場を提供し、実社
会への自立をめざすもので、陶芸や
さをり織りの自主生産作業、近隣の
事業所から提供された簡易な加工作
業などの授産活動のほか、これらを
通しての生活訓練などを行います。

問い合わせは社会福祉法人池田芽
ばえ福祉会事務局（コミュニティセ
ンター内、☎52・8697）

社会福祉法人
池田芽ばえ福祉会



98-30F・1

今回の出品される作品は、平面上に広がる無数の水玉が、さも浮かび上がっているように、人間の視角を惑わす、平面でありながら立体作品のように感じ

水玉がモチーフ 抽象画の世界

2/11(祝)
~23(火)

河野芳夫展 = 市主催展 =
ギャラリーいけだ

市は、2月11日(祝)から23日(火)まで、ギャラリーいけだ(阪急「池田」駅改札口西)で「河野芳夫展」(17面参照)を開催します。今回の作品は、水玉をモチーフにした、1995年から98年に制作された平面の抽象作品約9点を展示します。

河野さんは、56年、当時の美術団体や既成の画壇に矛盾を感じ、本市にお住まいの抽象画家である片山昭弘さんらとともに制作集団「極」を結成され、現在まで、抽象一筋に歩んでこられました。「極」は59年に解散。

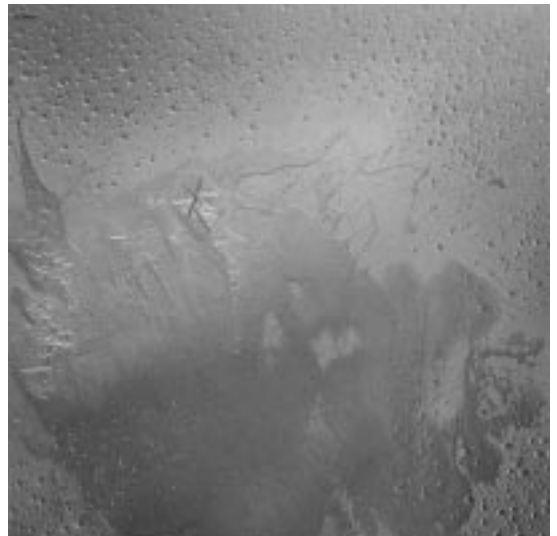
その間、大阪絵画トリエンナーレで特別賞を受賞されるなど、数々の賞を受賞される傍ら、75年に初めて開催された関西を中心に活躍する抽象作家の展覧会「Ge展」に毎年出品されるなど、個展、グループ展と作品の発表を続けられています。

させる幻想的な作品です。

今回の展覧会に当たって、1960年、住宅公団がはじめて4LDKの賃貸住宅を五月丘に建てました。私はその一室に入居ができ、そのゆかりのある池田市で、市主催の展覧会を開くについて、特別の感慨を感じております。ここどころ自作のタイトルは、制作年と大きさ、制作順の番号のみとして、鑑みる人の感性に託しています。表現の内容は具体的なものを写したり、または、表現したりしているものではありません」と、作品への思いを寄せられ

ています。

問い合わせは(財)いけだ市民文化振興財団(☎50・3333)



95-100S・1

プロフィール

河野芳夫さん

(こうの・よしお)

《宝塚市在住》



- 1921年 大阪市に生まれる
- 1942年 京都市立絵画専門学校卒業(現・京都芸大)
- 1956年 制作集団「極」を結成 大阪・東京で作品発表(~'59)
- 1957年 第1回朝日新人展(大阪)('58)
- 1970年 カレッジ・ウーマンズ・プリントショウ(ニューヨーク)
- 1975年 Ge展(大阪府民ギャラリー)以後毎回出品
- 1978年 アート・ナウ78(兵庫県立近代美術館)
- 1980年 今絵画は... OSAKA(大阪府立現代美術センター='81,'84)
- 1984年 全関西美術展審査員、以後毎回招待出品(大阪府立美術館・市主催)
- 1990年 大阪絵画トリエンナーレ'90(マイドーム大阪)羽曳野市買上
- 1992年 抽象ひとすじ河野芳夫展(京阪ギャラリー・オブアーツ・アンド・サイエンス:京阪百貨店)
- 1993年 大阪絵画トリエンナーレ'93特別賞受賞(マイドーム大阪)
- 1994年 関西の美術1950's~1970's-創造者たちのメッセージ(兵庫県立近代美術館)
- 1995年 「マジカルな視点」展(枚方市立御殿山美術センター)
- 1996年 制作集団「極」展(兵庫県立近代美術館)大阪絵画トリエンナーレ'96特別賞受賞(マイドーム大阪) その他個展・グループ展多数